

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆大企業の7～9月景況感、2四半期ぶりのプラス 半導体好調

・内閣府と財務省が発表した7～9月期の法人企業景気予測調査によると、大企業全産業の景況判断指数(BSI)はプラス5.3だった。プラスは2四半期ぶり。半導体関連やサービス業が好調で、製造業と非製造業ともにプラスだった。「上昇」と答えた企業の割合から「下降」の割合を引いた数値。4～6月期の大企業全産業はマイナス0.5と、4四半期ぶりのマイナス。

◆希望出生率1.46へ低下試算、結婚意欲が減退 薄い婚姻前支援

・結婚を望む人が全員結婚し、希望する数の子どもを持てたと仮定した場合の女性一人あたりの子どもの数を示す「希望出生率」は2025年に1.46程度に落ち込む見通し。結婚意欲の低下による影響が大きい。若年層が経済不安により家庭形成をためらう状況が浮かび上がる。出生動向基本調査を基に希望出生率を試算。

◆東大など12大学赤字、国立大学85法人の25年度決算 病院経費が重荷

・文部科学省は国立大学85法人の2025年度決算を発表。東京大学や東京科学大学などの12法人が赤字。付属病院の経費拡大が主な要因。赤字になった大学法人数は24年度の16法人から減。国立大学法人全体では最終利益は24年度比22%減の354億円。物価や人件費上昇で支出が増えた。国は25年度の補正予算で421億円の運営費交付金を措置。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆経産省、商業施設のガス警報器追加を要請 熊本地震での爆発受け

・経済産業省はガス事業者に対して商業施設や病院にガス漏れ警報器を追加設置するよう要請。熊本地震後に商業施設で爆発事故が起きたことを受け、リスク軽減につなげる。全国LPガス協会、日本コミュニティーガス協会、日本ガス協会の3団体に要請を出した。爆発を招く可能性がある場所に警報器や検知機を「自主的かつ速やかに」設置するよう求めた。

◆特殊鋼が3年半ぶり最高値更新 合金高が波及、半導体関連が好調

・自動車や産業機械の部品などに使う構造用鋼が一般流通(店売り)市場で約3年半ぶりに値上がり。代表品種は1割弱上がって最高値を更新。原料の鉄スクラップや合金などの価格上昇を受けたメーカーの値上げが浸透。鋼材の値上がり基調が高機能製品にも拡大。構造用鋼は強度や耐熱性などを高めるため合金などを加えてつくる特殊鋼の一種。

◆リフォーム・リニューアル受注高、住宅は7.6%減 26年度1Q調査

・国土交通省が公表した「建築物リフォーム・リニューアル調査報告」(2026年4～6月受注分)によると、受注高の合計は前年同期比22.8%増の5兆427億円となった。このうち住宅に係る工事の受注高は1兆807億円で同7.6%減少。非住宅建築物に係る工事の受注高は3兆9619億円となり、同34.9%増加。

《 注目商品 》

■「乾太くん専用収納ユニット」に新柄・新プランを追加

・永大産業は、「乾太くん専用収納ユニット」の新柄として「ノーブルベージュ柄(NU)」「ノーブルグレー柄(NR)」の2種類を追加。リンナイの家庭用ガス衣類乾燥機「乾太くん」に対応する洗面脱衣室・ランドリールーム向けの収納製品。



■アイカ工業、マグネット対応の不燃化粧板

・意匠性・耐久性・施工性に優れたメラミン不燃化粧板にマグネット機能を追加。掲示用マグネット、フック、小棚などのマグネット収納を使用して、デッドスペースとなりがちな壁面をスマートに有効活用できる。住宅や医療・福祉施設などの非住宅にも適用。



■永大産業、天板・パネル厚10mmのキッチン

・ワークトップとサイドパネルの厚みを10mmまで薄くしたノイズレスデザインの新キッチン。ワークトップはステンレス、メラミン、セラミック、人造石の4種類をラインナップ。ワークトップと扉を同柄で統一できる「キューブスタイル」に対応し、より一体感のあるデザインを実現。

